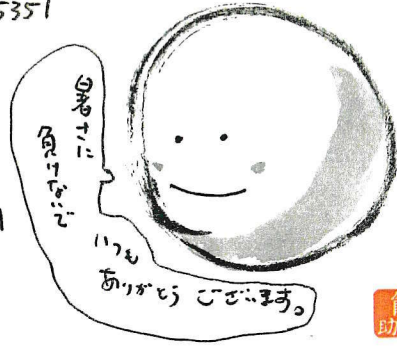


よっちゃん
だっちゃん

2020.8月号
Vol.131



余助

アリのキリギリス②

小学生の夏休み編

小学生の頃。8月はも、もワクワクし、も、もピンチを感じて月でした。

夏休み最初の何をやるかのワクワク感



出ヒリ・フリス・海・花火・お・か・朝顔の集まり・旅行
存続の虫の囁き

そして、あの日か...

8月30日、31日、宿題に追いつかれず日。
(当時)

小学生の頃の学びが大人になって役に立っております。^^

どうも言っておりますが 20代半ばで気づきました。もし気づいていない方がいたら
早く目覚めよう。気づきに早い遅いはありませんよー

アリのキリギリス① ~ 正しさとは ~

私がまだどこかの頃に「アリのキリギリス」という童話をこころに習いました。

アリさんは毎日、毎日、将来のために働いています。一方のキリギリスさんは

毎日、毎日、今を楽しみ生きていかにしていました。

そして、冬がやってきて、アリさんは準備ができて

ニコニコしています。キリギリスさんは貯金がないので

アリさんに助けを求めても 相手にしてもらえず... 凍死します

当時の教えはキリギリスさんみたいになりたくなければ、楽しむことよりも、

辛くても 安心のために働きなさい というものでした。

では、アリさんが正しいのか？ キリギリスさんが正しいのか？ 個人的には、

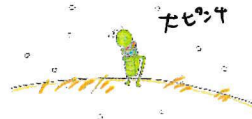
どちらが正しい(も蓋)というより、どちらも大切なと思います。

楽しみたいし、安心したいですもんね^^

どちらが正しいという時代はもう 古いのかもわかりませんね^^

※ 正しさの究極が戦争だもんです

コトで済む^^



＝ 生と死と向き合 ＝

コロナを俯瞰してみよう。

年間、がん 癌で40万人・心疾患で20万人・肺炎で10万人・転倒で4万人

自殺で2万人・インフルエンザで1万人・交通事故で5千人

そして、コロナは今のところ1000人。(4年時)

世の中、たくさんものと共に生きています。

コロナを知り、この機会に、今、生かされていることと向き合う時
怖いかもわかりません...

※ 「俯瞰の日」

167710-2019.7月号 Vol.60
おめでとう^^

